

栃木県におけるご当地キャラクターが及ぼす効果

木村 旭陽

1. なぜご当地キャラクターなのか

近年、地域の活性化が叫ばれるとともに、地域を盛り上げようと、地域密着型のキャラクターが増えてきた。世間に広く浸透したものでいえば、「くまモン」を始めとしたゆるキャラなどが最たる例である。ゆるキャラ以外にも、ご当地アイドルや、ご当地ヒーローなど、「ご当地キャラクター」が様々な場面で活躍している。私は、もとよりご当地キャラクターに対して興味があったわけではない。きっかけは、私の高校時代の出来事である。私たちの代は、新型コロナウイルスの影響で高校の修学旅行が無くなってしまった。その代わりに、友人たちと栃木県へ旅行をすることになった。そこで、栃木県のご当地キャラクターである「まろに☆え〜る」を知った。その後、宇都宮大学に進学してからは、「まろに☆え〜る」を制作した「とちぎテレビ」のイベントである「とちテレアニメフェスタ」に友人たちと参加している。このような経緯があって、ご当地キャラクター、特に栃木県におけるご当地キャラクターが及ぼす効果について気になったのである。

最近では、自治体や地域企業と連携し、地域の魅力を発信する「VTuber」も出現してきた。こういった動きは、栃木県でも例外ではない。ゆるキャラでは、「とちまるくん」や「さのまる」、他にも、とちぎテレビが制作した「まろに☆え〜る」や、下野新聞社公認VTuber「栃宮るりは」など多岐にわたる。栃木県における「ご当地キャラクター」が地域に及ぼす効果とは、いったいどのようなものがあるのか。そして、その効果はどれほどのものであるのかを考察していく。

2. 調査方法

ご当地キャラクターの定義

まず、ご当地キャラクターとは一体何なのか。私は、地域を盛り上げようとする地域密着型のキャラクターと判断した。したがって、地域の自治体が制作したものに加え、地域の企業が制作したものも含まれると判断する。しかし、ゆるキャラによる誘致効果は、周

知の事実である。前述したように、「くまモン」をはじめとするゆるキャラは世間に広く浸透し、それぞれの自治体の知名度、及び人気を大きく上昇させた。そこで、今回はゆるキャラ以外の事例から考察を進めていく。

調査方法

誘致効果を調べるために、栃木県のご当地キャラクターを応援する県外（福島県と宮城県）に住む大学生 2 名に協力をお願いして、質的インタビューを行った。以下が質問項目である。これに沿ってインタビューを進めた¹。

- ・ 貴方が好きなご当地キャラクターの魅力について教えてください
 - ・ そのご当地キャラクターの存在はどこで知りましたか。
 - ・ 栃木県のことをどう感じていますか。
 - ・ 貴方が考える栃木県の魅力について教えてください。
- そして得られた結果からキーワードを抽出し、考察を進めていく。

以下がインタビューの内容を私が文章化したものである。

3. まろに☆え〜るに引き込まれる「え〜ら〜」²I氏

「まろに☆え〜る」の魅力は大きく 5 つにわけられる。①キャラクターデザイン、ストーリー②メディア展開③声優④地域貢献⑤ファンとの交流だ。①に関しては、栃木県出身の漫画家である一葵さやか先生の力が大きい。親しみやすいデザインと、それぞれのキャラクターが栃木県のそれぞれの特産物を表していて、一目で栃木の特産物が分かるデザインとなっている。②メディア展開に関して、漫画、アニメ、ボイスコミックなど多くの形態で発信しているため、目にとまりやすい。また、「まろに☆え〜る」が参加するイベントは、「とちテレアニメフェスタ」などサブカルチャー好きが集まるイベントのため、魅力を伝えやすい。③栃木にゆかりのある大人気声優も出演しており、作品の質を高めている。次に、④の地域貢献である。作品自体、栃木県が舞台となっており、地域との結びつきが

¹ 2024 年 05 月 15 日における福島県福島市在住大学生 I 氏と宮城県仙台市在住の大学生 S 氏とのインタビュー

² 「まろに☆え〜る」の熱心なファンを「え〜ら〜」と呼ぶ。

強い。例えば、「まろに☆え〜る」のメンバーである「瓜田瑠梨」は下野市出身であるという設定から実際に、下野市から特別住民票をもらっている。そして、⑤ファンとの交流だ。メンバーがファンとの交流を大切にしており、身内感が強い。

栃木県のご当地キャラクターに興味が出たきっかけとしては、「とちぎテレビ」のとある番組だった。もともとドラゴンボール（以下 DB）が好きで、偶然ユーチューブで DB のモノマネをする芸人（以下 DB 芸人）たちが出演する番組を見かけた。それが、とちぎテレビの「まろに☆え〜る TV」だった。これは、DB 芸人が栃木県の名所や名物などを紹介する番組で、そこに、栃木県のご当地キャラクターである「まろに☆え〜る」が出演していた。そこから実際に栃木県に行ってみて、「まろに☆え〜る」にはまった。実際に作品に出ていた多くの場所にも訪れている。

栃木県のご当地キャラクターは、自然の豊かさ、歴史、文化、避暑地（別荘）、キャラクター、地元の人々の温かさから好意的に感じている。

栃木県の魅力を一言にまとめることは難しい。振り返ってみると、大学に入ってから最もかわりがあるのが栃木県だった。車で簡単に行くことができ、電車で東京に行く際にも寄ることができるという交通の便の良さ。毎年参加している「とちテレアニメフェスタ」。四季を感じる風景に、鬼怒川温泉を始めとした温泉。美味しい餃子専門店などだ。実際栃木県には住んでみたいと考えている。東京などより大きな魅力を感じている。県外在住だからこそ感じる魅力は、オリオン通りという大規模な商店街だ。毎年宇都宮市で開催される「とちテレアニメフェスタ」が、あの規模で、あれだけの人を呼び込むことができているのは、オリオン通りの規模感があってこそだと思う。これは栃木県の地域資源であると感じている。

4. 栃木県のご当地キャラクターの包摂的なファン S 氏

栃木県のご当地キャラクター、特に「まろに☆え〜る」の魅力はその PR の仕方にある。赤→イチゴ、黄→ギョーザ、緑→かんぴょうのように栃木県の特産物が一目でわかるようなデザインとなっており、初見でわかりやすい。また、アイドル的に売り出していることも工夫の一つだ。アイドル的に売り出すことによって、物販やステージなど商業的な役割というのが大きくなる。これによって、推すという活動がしやすくなっている。また、この一連の流れによって、知っている人が増えやすいというメリットもある。また、他のキャラクターたちも様々な面からアプローチをしている。その一例が VTuber だ。下野新聞社公認の VTuber である「栃宮るりは」は、YouTube 上だけでなく、駅での広告や実際のイベントに出演するなど、独自の魅力を見出している。

栃木県のご当地キャラクターに興味が出たきっかけは友人からの誘いであった。友人とともに「とちテレアニメフェスタ」に参加し、そこで、「まろに☆え〜る」や栃木県のご当地キャラクターに興味をわいた。その後は、ご当地キャラクターの影響で何度も栃木県に足を運んだり、栃木にかかわりがあるような商品を購入したりしている。

ご当地キャラクターを通して栃木県の様々なところを見てきた。都会でも田舎でもないどっちつかずなイメージを持っている。しかし、これはマイナスなイメージではなく、都会と田舎の良いところ取りができているというプラスなイメージがある。

栃木県の魅力は、日光やあしかがフラワーパーク、いろは坂、温泉などの観光地ではないだろうか。これらの観光地は、自然との共存ができており、大きな魅力であると感じている。また、交通の便も大きな魅力だ。東京まで電車で一本など北関東というアクセスの良さは強い。また宇都宮市内でも、LRTなどでどんどん便利になってきている。

5. ご当地キャラクターの地域パワー

以上のインタビュー結果から、私なりにご当地キャラクターのキーワードを見出してみた。

〈キーワード〉デザイン・ストーリー性、「中」の人、多面的なアプローチ、地域との結びつき、特産物、地域資源、「足を運ぶ」エネルギー、栃木商品の購入

以上のキーワードから、ご当地キャラクターに求められる特徴、及びその効果について考察を進めていく。

まずは、キャラクターとしての魅力に関してだ。キャラクター形成するにあってデザインとストーリーは欠かせない。デザインは、その土地の特徴をよく表したものが受け入れられやすい。例えば、「まろに☆え〜る」であれば、栃木県の特産物であるイチゴと餃子とかんぴょうをモチーフにしたデザインとなっており、一目でそれが分かるものとなっている。これによって、栃木県の特産物を知らない人でも容易に栃木県について知ったつもりになれるだろう。

また、キャラクターとしてのかわいさ、かっこよさも重要な要因だ。私はデザイン学に精通していないため、あまり適当なことをこの場で述べることはできないが、そのキャラクターを見て好きな人を選ぶようなデザインは避けた方が良いだろう。地域の魅力をより多くの人に広めることがご当地キャラクターの使命であるのにもかかわらず、賛否を呼ぶデザインは目的に沿わないだろう。また、ストーリーがキャラクターに深みをもたせる。キャラクターのストーリー性や設定がしっかりしていると、それに基づいて行動されるためキャラクターとしての深みが増す。

さらに、キャラクターを演じる人というのも重要な要素である。ご当地キャラクターはその特性上、リアルイベントに参加し、ファンと直接かかわる機会が多い。そのため、キャラクターを演じていない部分というのが出てきてしまう時がある。しかし、こういった素の部分を求めるファンが多いのも事実である。このファンとの距離の近さがご当地キャラクターの特徴であり、魅力と言えるだろう。また、キャラクターのアピールの方法も多様化してきている。SNS を使うことはもちろんであるが、これに加えて、他とどう差別化するかが重要だ。SNS が主流になりつつある今だからこそ、流行りにのってみたい、かえってリアルイベントでアピールしたりなど、その工夫は多岐にわたる。こういった活動でそのキャラクターを知ったときに、そのキャラクターがアピールする地域についてより知ることができるのだ。

次に、地域との結びつきに関してだ。ご当地キャラクターの効果のひとつとして誘致効果があると感じた。ご当地キャラクターは、その特性上、地域資源をアピールし、その地域を盛り上げようとする。アピールする地域資源と、そのアピールの仕方次第では、大きな効果が見込める。インタビューによると、「ご当地キャラクターの影響で栃木県に何度も足を運んだ」や、「作品に出ていた多くの場所にも訪れている」とある。このように、県外在住であるのにもかかわらず、何度も訪れる効果があるのだ。

また、効果を実感する場面は他にもある。それは「とちテレアニメフェスタ」である。「とちテレアニメフェスタ」には栃木県内外から多くの来場者が訪れ、その数は年々増加している。今年は、人気ステージになると、オリオンスクエアで身動きが取れなくなってしまふほどだ。これの「まるに☆え〜る」のステージでは、栃木県外から来た人を聞くコーナーがあるのだが、今年は県外からのファンが半数以上を占める結果となった。このように、ご当地キャラクターには大きな誘致効果があることがわかる。

ご当地キャラクターのファンは、その地域の関係人口の創出モデルではないかと考える。関係人口とは、内閣府によると「特定の地域に継続的に多様な形でかかわる人のこと。」³ インタビューに「栃木にかかわりがある商品の購入」とあるが、これは自分の故郷に抱く感情と類似しているのではないかと感じた。自分の故郷の商品があったら、目にとまってしまうのと同じように、栃木県という文字があったら自然とにとまってしまう、購入に至る。ご当地キャラクターを応援していくうちに、そのキャラクターたちが紹介するものを

³ 内閣官房・内閣府総合サイト地方創生より

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/kankei/index.html#:~:text=>

応援するようになり、結果的にいつの間にかその地域自体を応援するようになってしまっ
ていくのだろう。まさに、関係人口の創出・拡大の例であると感じた。

ここまで、栃木県におけるご当地キャラクターの効果について、インタビューや実際に
イベントに参加した経験から考察してきた。ご当地キャラクターが及ぼす効果は、私たち
が感じている以上に大きいということが分かったと思う。

日本全体の人口減少が目前と迫ってきている現在で、人口減少は地域の大きな課題とな
っている。しかし、そんな今だからこそご当地キャラクターによる関係人口の創出は大き
な希望ともいえる。栃木県におけるご当地キャラクターによって創出された関係人口は決
して少なくない。ご当地キャラクターが照らす栃木県をこれからも考えていきたい。